

「学習の手引き」国語科（1年生）

0. はじめに

国語科では、「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」等、社会で生きていくために必要なことを学んでいきます。しかし、生きていくために必須ということは、逆説的に人間は日常生活の中で読んだり、書いたり、話したりしているということになります。なぜ既にできていることを改めて国語科で勉強するのか、自分なりの答えを持ってほしいと考えています。

国語を学ぶとは、新たな世界を知ることだと考えています。新たな世界を知ることによって新たな視点から事柄を見ることができ、人生が豊かになります。そうすると国語を学ぶことが楽しくなり、成績にも結び付くと思います。一緒に楽しく学んでいきましょう。

1. 授業の受け方

- ① 授業が始まる前に教科書・ノート・ワークを準備しましょう。必要な時はその都度、国語便覧や漢字ノートを準備するように呼びかけます。
- ② 忘れ物をした場合、授業が始まる前に教科担任に報告しましょう。
- ③ はじめと終わりは元気にあいさつをしましょう。
- ④ 毎時間最初の5分程度で10問の漢字テストを行います。範囲は、事前に漢字ワークで指示します。
- ⑤ ノートのとり方は特に指定しないため、学びを深められるようなノートを工夫して作りましょう。必要以上に丁寧に書くよりも周りとの学びを深めることを主としましょう。月に1回程度集めて見せてもらい、整理されたノートは手本として掲示させてもらうことがあります。また、ノートのとり方について悩んでいる人は相談に乗りますので気軽に声をかけてください。
- ⑥ 発言する場合は、挙手とそうでない場合とを指示します。どんどん発言してください。ただし授業に関係ない話はしないようにしましょう。
- ⑦ 課題を解決するためにグループで協力しましょう。そのため、失敗したり間違ったりした人を馬鹿にしたり責めたりしてはいけません。失敗は全体の学びをより深める重要なものであり、失敗を恐れずに積極的に発言してほしいです。
- ⑧ 発言する場合は教室全体に意見が通るように体を向け、大きな声で発言しましょう。
- ⑨ 誰かが発言している場合は話すのをやめ、耳を傾けましょう。

2. 家庭学習の取り組み

- ① 授業で扱う文章を音読しましょう。(詩や和歌は音読し、語感やリズムを楽しむとよいと思います)
- ② 古典作品などは、代表的な作品の冒頭文を暗唱できるようにしましょう。(1年生なら、「竹取物語」(教科書にあります)「平家物語」「徒然草」「方丈記」など便覧に載っています。
- ③ 漢字の書き取り練習をしましょう。毎日のマメテストで取り組んだ後、2回目の期間をあけて再度マメテスト、さらに期末テストにも出題する予定なので、頑張ってください。
- ④ ワークを解きましょう。さらに問題文のポイントをチェックする習慣を身につけるようにしましょう。家庭学習から取り組むようにしましょう。
- ⑤ どのようなものでもいいから本を読みましょう。
- ⑥ 知らない言葉(熟語・ことわざ・慣用句等)があった場合は、その言葉を書き留め、国語便覧やインターネットを使い意味を調べましょう。
- ⑦ 学校で受けたテストで間違った問題を復習する。時間を置いて、再度テストをやり直してみましょう。

3. テストに向けた取り組み

- ① ワークを繰り返し取り組みましょう。特に間違えた問題は、その答えも消さずに新たに正しい答えを赤ペンで書き込みましょう。また、その答えが本文中のどの部分から取り出されたのかを確認し、教科書にしるしをつけていくと、答えを見つけるコツがつかめると思います。
- ② 漢字は、漢字テストで間違えた問題を中心に繰り返し練習しましょう。時間があれば、その漢字が含まれた熟語を調べて書いておくと忘れにくくなると思います。
- ③ 答えがわからない場合は解答を見てもよいですが、答えを写して終わるのではなく、なぜその答えになるのかを考えましょう。
- ④ ワーク、漢字を終え、さらに取り組みたい勉強があった場合は、庄山へ相談してください。過去の学力テストなどを活用することもできます。